



平成19年4月  
独立行政法人日本学術振興会

## 第4回 「日本学術振興会賞」受賞候補者推薦要項 (平成19年度)

### 1. 趣旨

我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させるためには、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援していく必要があります。この趣旨から日本学術振興会は、平成16年度に日本学術振興会賞を創設しました。

### 2. 対象分野

人文・社会科学及び自然科学にわたる全分野

### 3. 授賞

授賞数は20件程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として研究奨励金110万円を贈呈します。

なお、日本学士院より、日本学術振興会賞受賞者のうち5名以内に日本学士院学術奨励賞が併せて授与されます。

### 4. 対象者

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと認められる者のうち、平成19年4月1日現在以下の条件を満たす者とします。

- 1) 45歳未満であること
- 2) 博士の学位を取得していること(博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含みます。)
- 3) 日本国籍を有する者又は外国人であって推薦時点において我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属しており、今後も継続して我が国で研究活動を予定していること

注：推薦は、2年間有効です。

第3回(平成18年度)に推薦された候補者についても、今回の審査の対象となりますが、1年間の研究活動により新たな研究業績を重ねていると思われる候補者については、改めて推薦されることをお勧めします。

## 5. 推薦権者

- 1) 我が国の大学等研究機関の長（機関長推薦）
- 2) 優れた研究実績を有する我が国の学術研究者（個人推薦）  
自薦は受けません。

## 6. 推薦手続

### 1) 提出書類

- 「受賞候補者推薦名簿」(機関長推薦の場合のみ) ----- 原本1部(様式1)
- 「推薦書」 ----- 原本1部、写し6部(様式2)
- 「業績調書」 ----- 原本1部、写し6部(様式3)
- 「推薦理由書A、B」\*注1 ----- それぞれ原本1部、写し6部(様式4)
- 論文の別刷・著書・その他の業績資料(5件以内)\*注2 ----- 各3部
- 「業績調書一覧」 ----- 各3部(様式5)

注1: は、推薦者以外の2名から、それぞれ作成いただくものです。

注2: は、「業績調書」(様式3)の「【研究業績B】」の番号に一致するようそれぞれ番号を論文の別刷等の表紙に記入し、上から若い番号順に取りまとめ、「業績調書一覧」(様式5)とともにクリップ留め(又は梱包)してください。

### 2) 応募方法

#### ア) 機関長推薦の場合

- ( ) 候補者毎に、～ を片面印刷し番号順に1部ずつ重ねて、左上をホチキスでとめてください。
- ( ) を表紙とし、そのリスト順に( )をセットして、を添え提出してください。

#### イ) 個人推薦の場合

候補者毎に、～ を片面印刷し番号順に1部ずつ重ねて、左上をホチキスでとめてください。それに を添え提出してください。( は不要)

## 7. キャリーオーバーについて

第3回(平成18年度)に推薦された候補者のうち、平成19年4月1日現在で45歳未満の候補者の推薦は、「キャリーオーバー」として第4回(平成19年度)まで審査対象としています。しかしながら、1年間で新たな研究業績を重ねていると思われる候補者については、改めて推薦されることをお勧めします。

## 8. 受付期間

- 平成19年6月4日(月)～6日(水)(必着)
- (午前10時から正午まで及び午後1時から午後5時まで)

## 9. 選考及び選考結果の通知

日本学術振興会に設置する審査会において選考し、平成20年1月中旬頃推薦者に通知します。

なお、日本学士院学術奨励賞については、同院において選考され、平成20年2月頃直接通知されます。

## 10. 授賞式

平成20年3月頃に行う予定です。詳細については、選考結果とともに受賞者に通知します。

## 11. その他

- 1) 推薦書等は、所定の様式を使用してください。なお、推薦書等は本会のホームページ (<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>) よりダウンロードすることができます。
- 2) 推薦書等の提出後、その記載事項を変更または補充することはできません。
- 3) 提出された推薦書及び業績資料等は返却しません。
- 4) 選考結果に対する問い合わせには応じかねます。
- 5) 受賞者の氏名、略歴及び授賞の対象となった研究業績等は公表されるのであらかじめ承知願います。
- 6) 受賞者には、我が国の学術の振興、本会の事業の充実等のため、協力を依頼することがあります。
- 7) 推薦書類に含まれる個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び本会の「個人情報保護規程」に基づき厳重に管理し、本事業の業務遂行のために利用します。

## 12. 推薦書類の提出先及び問い合わせ先

推薦書類は下記へ持参、又は郵送にて提出してください。

〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地

独立行政法人 日本学術振興会

総務部 研究者養成課 「日本学術振興会賞」担当

TEL 03-3263-1762

FAX 03-3222-1986

ホームページアドレス

<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

参考 第3回(平成18年度)日本学術振興会賞について

1. 第3回(平成18年度)推薦状況

( )は、前回の人数

第3回(平成18年度)			キャリアオーバー <sup>2</sup>	合計
機関長推薦	個人推薦	計 <sup>1</sup>		
208人(201人)	68人(64人)	275人(263人)	140人(178人)	415人(441人)

1 重複推薦を除く。

2 本賞の推薦は2年間有効であり、前回の被推薦者から受賞者及び当該年度の4月1日時点で45歳を超える者を除いた者を審査対象者とする。

2. 第3回(平成18年度)日本学術振興会賞日程

推薦依頼	平成18年4月10日
推薦受付	平成18年6月5日～9日
予備審査 (学術システム研究センター)	平成18年6月下旬～10月中旬
審査会	平成18年11月9日
受賞者決定報道発表	平成18年12月27日
授賞式	平成19年3月2日

第3回（平成18年度）日本学術振興会賞受賞者一覧

系別	受賞者氏名（性別）、（年齢）	所属機関 職名	授賞の対象となった研究業績
人 社 系	イシハラ 石原 あえか（女）、（37）	慶應義塾大学 商学部助教授	ゲーテの《自然という書物》：近代ドイツ文学における自然科学受容についての一考察
	カジイ アツシ 梶井 厚志（男）、（42）	京都大学 経済研究所教授	不確実性と情報のミクロ経済理論
	コンドウ タカヒロ 近藤 孝弘（男）、（42）	名古屋大学 大学院教育発達科学研究科助教授	国際関係における歴史教育政策に関する比較研究
	フクエ ミツル 福江 充（男）、（42）	富山県〔立山博物館〕 主任・学芸員	近世立山信仰の展開
	ミノグチ コウジ 溝口 孝司（男）、（42）	九州大学 大学院比較社会文化研究院助教授	社会考古学の理論的・方法論的開発と応用研究
	ワタナベ チカコ 渡辺 千香子（女）、（43）	大阪学院短期大学 国際文化学学科助教授	物語論の観点から古代メソポタミア美術を解釈する研究
理 工 系	オオクマ タケシ 大熊 毅（男）、（44）	北海道大学 大学院工学研究科教授	ケトン類の不斉水素化反応の開発
	オオモリ ケンジ 大森 賢治（男）、（43）	自然科学研究機構 分子科学研究所教授	アト秒コヒーレント制御法の開発と応用
	カワサキ マサシ 川崎 雅司（男）、（44）	東北大学 金属材料研究所教授	金属酸化物の精密エピタキシーと電子機能化に関する研究
	コウ ショウミン 侯 召民（男）、（44）（中国）	理化学研究所 主任研究員	新しい希土類重合触媒と新規機能性材料の開発
	コバヤシ トシユキ 小林 俊行（男）、（43）	京都大学 数理解析研究所教授	代数・幾何・解析にまたがるリー群の無限次元表現の理論と不連続群の研究
	スギヤマ ナオン 杉山 直（男）、（44）	名古屋大学 大学院理学研究科教授	宇宙マイクロ波背景放射に関する理論的研究
	タナカ マサアキ 田中 雅明（男）、（44）	東京大学 大学院工学系研究科教授	半導体と磁性体からなる複合構造の研究とスピントロニクスへの展開
	ツバキ ナリタツファン リ 椿 範立（範立）（男）、（40）	富山大学 大学院理工学研究部（工学）教授	石油代替エネルギーに着目した触媒プロセスの開発
	ドウヤ ケンジ 銅谷 賢治（男）、（44）	沖縄科学技術研究基盤整備機構 大学院大学先行研究 神経計算ユニット代表研究者	脳の回路と分子機構への計算理論的アプローチ
フルサワ アキラ 古澤 明（男）、（44）	東京大学 大学院工学系研究科助教授	量子テレポーテーションネットワークの基礎研究	
生 物 系	アラキ タカン 荒木 宗（男）、（42）	京都大学 大学院生命科学研究所教授	高等植物の花成の制御機構の研究
	イワタ ソウ 岩田 想（男）、（42）	インペリアルカレッジロンドン 生命科学科デービットブロー記念生物物理学教授、構造生物学センターディレクター	膜タンパク質の結晶構造解析
	カタギリ ヒデキ 片桐 秀樹（男）、（43）	東北大学 大学院医学系研究科教授	糖・エネルギー代謝調節における臓器間情報ネットワーク機構の発見
	サワモト カズノブ 澤本 和延（男）、（38）	慶應義塾大学 医学部助教授	神経系の発生・再生過程における細胞の増殖・分化・移動
	タナカ シンジ 田中 真二（男）、（43）	東京医科歯科大学 情報医科学センター / 肝胆膵外科特任助教授	外科の臨床検体に基づいた消化器癌解析と新しい治療法の開発
	フルカワ タカヒサ 古川 貴久（男）、（42）	大阪バイオサイエンス研究所 発生生物学部門研究部長	脊椎動物の網膜発生の分子機構の解析
	ミヤワキ アツシ 宮脇 敦史（男）、（44）	理化学研究所 脳科学総合研究センター グループディレクター、チームリーダー	蛍光タンパク質の学際的開発研究
	ヤマナカ シンヤ 山中 伸弥（男）、（43）	京都大学 再生医科学研究所教授	細胞の核を初期化する遺伝子の解析と多分化能を持つ幹細胞の樹立
	ヨシザキ ゴロウ 吉崎 悟朗（男）、（40）	東京海洋大学 海洋科学部助教授	生殖細胞移植による新たな魚類養殖技法の開発